

# TANYO SHINYO KINKO

半期 REPORT 2022

令和4年9月期

地元のみなさまとともに…



当金庫所蔵  
作品名：「弓を引くヘラクレス」  
作者名：アントワーン・ブールデル



“よろず相談所”  
但陽信用金庫

# よろず相談所《たんよう》は いつもお客様のそばに……

平素は、当金庫に対しまして何かとお心寄せを賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、安心してお取引をいただくために、2022年9月期決算や経営内容の一端について「半期REPORT2022」としてまとめさせていただきました。

お目通しいただき、《たんよう》のより一層のご理解と引き続きのご支援、ご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

## 但陽信用金庫と地域の絆

当金庫は、大正15年に但馬(朝来市生野町)にて創業。山陽地域にご縁を拡げ、昭和63年5月、東播磨の加古川市に本店を移転。南但馬を含めた兵庫県中南部を事業区域に、地域の中小企業者や住民による会員組織の金融機関として、相互扶助による「地域の発展」「豊かな暮らしの実現」を共通の理念としています。

地域のお客様からお預かりした大切な預金は、地域で資金を必要とされるお客様にご利用いただき、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地域の中小企業者や住民の皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融サービス機能の提供にとどまらず、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標でもある「地域創生」への参画や文化・環境・福祉・教育・観光といった面も視野に、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

## 地域貢献・地域活性化支援に関する取組状況

～ボランティアを始めて27年～

### ■「NPO法人 但陽ボランティアセンター」への人員派遣など 地域に根ざしたボランティア活動に継続して取り組んでいます。



当金庫は、阪神淡路大震災以降、27年間、ボランティア活動を継続しています。2000年1月以後は、ボランティアを目的に設立した「NPO法人 但陽ボランティアセンター」に、金庫から毎日数名の職員を派遣する形で、車いすを利用されている方々へのリフト付福祉車両による「移送サービス」等の支援活動を続けています。

そのほか、

- ・高齢者宅(約2,300軒)へのケア訪問
- ・職員向け「認知症サポーター養成講座」の開催、啓蒙活動への協力
- ・「認知症バリアフリー宣言試行事業」への参加
- ・「フードドライブ」、食品ロス削減活動への協力
- ・全店舗ATMコーナーへのAED配備と職員向け「普通救命講習」の開催
- ・「こども119番の店」への登録
- ・献血活動への協力、骨髄バンクドナー登録会への協力



「認知症バリアフリー宣言」のロゴマーク

### ■地域における地方創生事業への参画

当金庫は、次のような新たな事業の創造支援等を通じて、地域の活性化や雇用の創出に向け、地方創生事業への参画に積極的に取り組んでいます。



#### 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」関連事業

銀の馬車道ネットワーク協議会は、「銀の馬車道」ルートをたどる観光スポットとして、沿線の主要な箇所にも馬車のモニュメントを設置し、日本遺産ストーリーの見える化を行ってきました。2022年3月30日(水)、「銀の馬車道修築碑ミニパーク」(姫路市砥堀、市川右岸)に4箇所目のモニュメントを設置し、2018年度より取り組んできた「馬車

復活事業」が完了しました。当金庫は日本遺産認定当初から協議会に参加しており、今後もエリア内外への認知度向上、来訪者増加に向け積極的に取り組んでまいります。

【モニュメント設置箇所】 ①神河町吉富「道の駅神河」東向い ②市川町浅野「国道312号線沿い」 ③福崎町辻川「観光交流センター駐車場」 ④姫路市砥堀「銀の馬車道修築碑ミニパーク」



#### 「日本毛織 旧社宅建築群」の利活用を応援しています

日本毛織株式会社様は、同社が明治末期から大正初期に建築し現存している、外国人技術者の居住施設や幹部社宅および従業員の長屋など、レトロ感あふれる旧社宅建築群の活用方法を検討されています。

当金庫は、加古川市に残る貴重な歴史遺産として、「日本毛織 旧社宅建築群」の利活用に積極的に関与しています。



中小企業の  
経営支援に  
関する  
取組み

地域の  
活性化に  
関する  
取組み

貸出金

3,168億円  
代理貸付:115億円

地域のお客様  
会員の皆様

〈2022年9月末現在〉

顧客数：444,046 先  
会員数：32,162 先

但陽信用金庫

〈2022年9月末現在〉

常勤従業員数：612名  
店舗数：34店舗  
出張所：71出張所  
(うち他金庫幹事  
3出張所)  
自己資本比率：15.13%

出資金

10億61百万円

預金積金

9,418億円

本店

## 中小企業の経営支援に関する取組状況



### ■ウクライナ情勢、新型コロナウイルスによる影響への対応について

ロシアのウクライナ侵攻による原油・仕入価格高騰や新型コロナウイルスの流行により、直接的・間接的に影響を受けておられる事業者および個人のお客様への相談に積極的に対応しています。

特別融資による資金調達支援をはじめ、短期継続融資や将来キャッシュフローに基づく融資の組み換え等、各種本業支援についてもお客様と一緒に考え、対応しています。当金庫が解決できない問題については、外部専門家にお取次ぎいたします。何なりとご相談ください。

#### 【相談窓口】

当金庫各店舗または本店本部  
(本店本部フリーダイヤル：0120-200-707)

### ■「知的資産経営」支援

「知的資産」とは、バランスシートに記載されている資産以外の、形や計数で表すことができない資産(経営理念・人材・技術力・組織力・ネットワークなど)を指しており、これらを自社の強みとして経営者と社員が共有し、経営資源として有効に活用することにより自社の価値向上に結び付けることを「知的資産経営」といいます。

当金庫は、2009年度から「知的資産経営」支援への取組みに努めています。

今年度は7月27日(水)にオンラインにて「知的資産経営支援セミナー」を開催(423社444名が参加)しました。また、知的資産経営に取り組む第一歩となる「経営デザインシート作成セミナー」を「加古川」「福崎」「姫路」「朝来」の4会場で、2022年9月～2023年1月にかけてそれぞれ4回コースで開催。さらに、経営デザインシート作成には、当金庫の支店長および渉外担当者がお客様事業所の伴走支援をしています。



【経営デザインシート作成支援セミナー】



スマホで詳しく!

《たんよう》の「知的資産経営」支援について、詳細をスマホでご案内しています。→

**《たんよう》**  
**緊急特別融資**  
＜原油・仕入価格高騰等への対応融資＞

取扱開始：令和4年9月1日より

◆ウクライナ情勢・コロナ影響による原油・仕入価格高騰、原材料不足等で事業活動に影響を受けている方に対する資金繰りを支援します。

借 入 額	3,000万円以内
借 入 期 間	10年以内(償還期間1年可能)
資 金 使 途	運転資金・設備資金
金 利	当金庫所定の優遇金利(実効金利)
そ の 他	・事業活動への影響については、確認資料の提出をお願いする場合がございます。 ・お借入にあたっては、当金庫の審査がございます。

※金額、期間、借入条件につきましては、個別に対応いたします。  
※実際に借入できない場合があります。  
※ご相談につきましては、当金庫本店で承りますので、最寄りの支店窓口または担当窓口にお問い合わせください。

「よろず相談所」  
**但陽信用金庫**  
本店フリーダイヤル：0120-200-707

事業者の皆様へ

お借入れの組み換えをご検討されませんか?

お借入れには月々返済を行う「長期借入」と月々の返済が不要な「短期借入」があります。現在のお借入れ内容を見直すことにより、月々の返済の軽減、また資金繰りの安定化が図れます。

お近くの《たんよう》にお気軽にご相談ください!

「本音が聞きたい場合は」  
専用支援電話  
0120-200-707  
受付時間：平日9時～17時

《たんよう》の相談  
スタッフも一緒に考えます。

※詳細の情報は、ご相談に際してご説明いたします。

但陽信用金庫  
株式会社 但陽信用金庫

### ■認定支援機関としての補助金申請支援

当金庫は、「中小企業経営力強化支援法」に基づく「経営革新等支援機関」として認定を受け、お客様のご相談を承っています。

この取組みの一環として行っている各種補助金・助成金の申請支援は、2022年9月末までに584件の申請に取り組み、うち246件(補助金等合計額36億14百万円)が採択されました。

補助金等の種類	累計採択件数
事業再構築補助金	62件
ものづくり・商業・サービス補助金	163件
創業関連補助金	16件
新商品・新サービスの開発支援事業補助金	1件
小規模事業者活性化補助金	4件

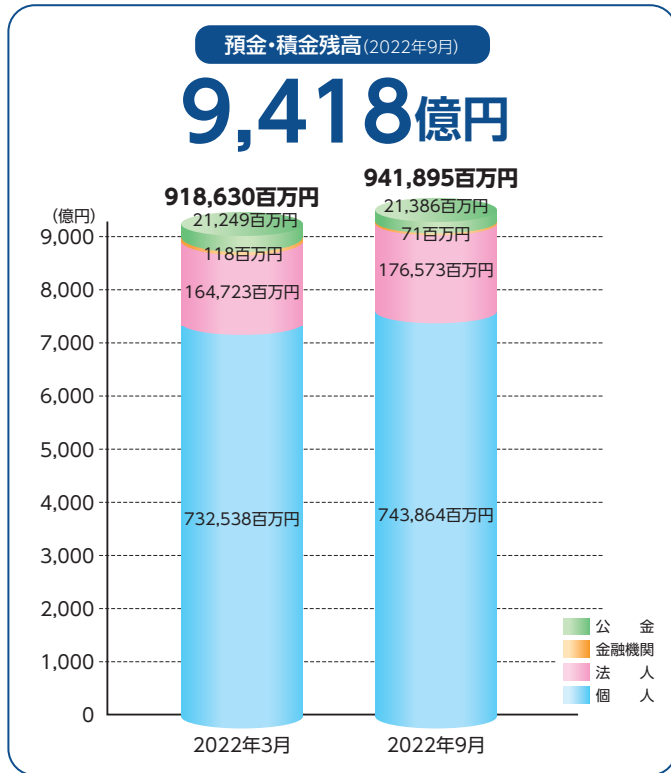
(2022年9月末現在)

# 2022年度上期の主な経営情報

## 預金・貸出金などの状況

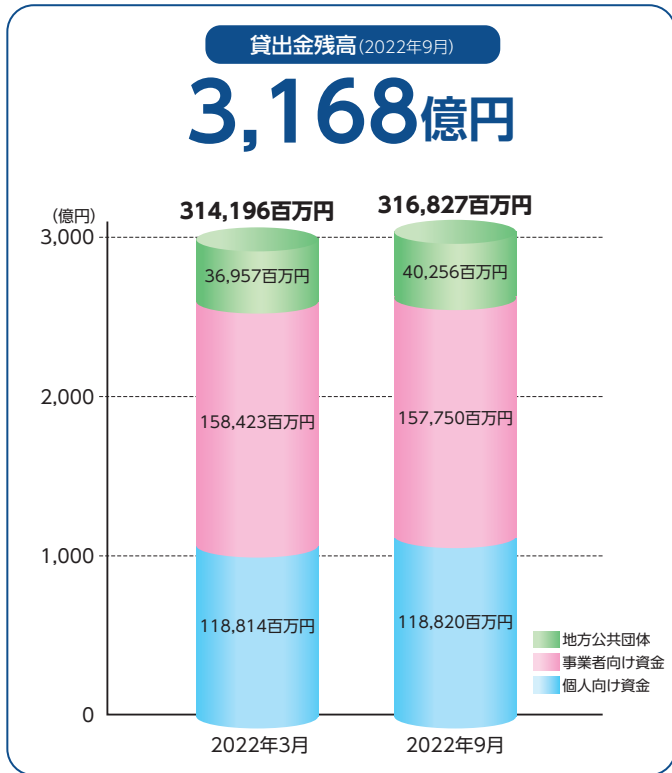
### ■預金・積金残高の推移

預金・積金残高は、伸展するキャッシュレス化の対応としてエリア内世帯への「間口拡大」と「メイン化推進」に取り組み、流動性預金の増強に努めた結果、**9,418億円**（期初比232億円、2.53%増）となりました。



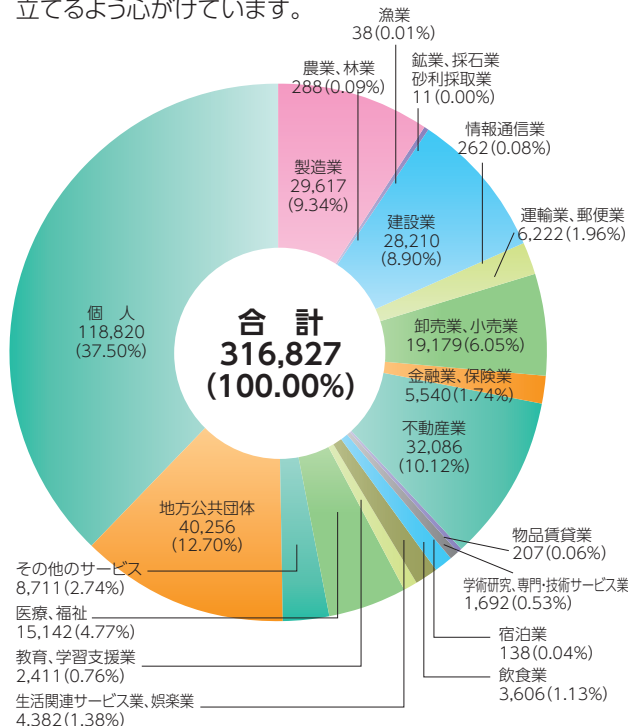
### ■貸出金残高の推移

長期化している新型コロナウイルスの流行やウクライナ情勢による原油・仕入価格高騰の影響を受けておられる事業者、個人の皆様から、あらゆる相談をお受けする「よろず相談所」の取組みを優先しました。その結果、貸出金は、**3,168億円**（期初比26億円、0.83%増）となりました。



## 業種別貸出残高の内訳

特定業種に偏ることなく、地域の幅広い業種のお役に立てるよう心がけています。



(単位:百万円、%)

	2022年3月		2022年9月	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	29,300	9.32	29,617	9.34
農業、林業	269	0.08	288	0.09
漁業	39	0.01	38	0.01
鉱業、採石業、砂利採取業	18	0.00	11	0.00
建設業	28,633	9.11	28,210	8.90
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-
情報通信業	256	0.08	262	0.08
運輸業、郵便業	5,924	1.88	6,222	1.96
卸売業、小売業	19,208	6.11	19,179	6.05
金融業、保険業	5,611	1.78	5,540	1.74
不動産業	32,014	10.18	32,086	10.12
物品賃貸業	183	0.05	207	0.06
学術研究、専門・技術サービス業	1,695	0.53	1,692	0.53
宿泊業	118	0.03	138	0.04
飲食業	3,616	1.15	3,606	1.13
生活関連サービス業、娯楽業	4,019	1.27	4,382	1.38
教育、学習支援業	2,297	0.73	2,411	0.76
医療、福祉	16,260	5.17	15,142	4.77
その他のサービス	8,955	2.85	8,711	2.74
小計	158,423	50.42	157,750	49.79
地方公共団体	36,957	11.76	40,256	12.70
個人	118,814	37.81	118,820	37.50
合計	314,196	100.00	316,827	100.00

(単位:百万円、%)

## 有価証券運用の状況

有価証券運用残高は、**3,201億円**(期初比▲202億円、▲5.95%減)となり、また、預金・積金に対する有価証券の割合は、33.98%(期初比▲3.06ポイント)となりました。

有価証券運用については、安全第一を心掛ける一方で、リスク管理に留意しつつ、一定の収益確保に取り組んでいます。

	2022年3月		2022年9月	
	残高	構成比	残高	構成比
国債	108,615	31.90	112,568	35.16
地方債	55,380	16.26	46,505	14.52
社債	65,004	19.09	55,819	17.43
株式	6,920	2.03	6,435	2.01
証券投資信託	30,419	8.93	27,387	8.55
外国証券	73,558	21.60	70,885	22.14
その他の証券	491	0.14	518	0.16
合計	340,391	100.00	320,119	100.00

## 有価証券の時価情報

■売買目的有価証券について、該当する取引はありません。

■満期保有目的の債券

(単位:百万円)

		2022年3月			2022年9月		
		貸借対照表計上額 (帳簿価格)	時価	差額	貸借対照表計上額 (帳簿価格)	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を 超えるもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	3,343	3,545	201	3,204	3,377	173
	社債	1,489	1,569	79	1,446	1,515	68
	外国証券	4,117	4,264	147	3,218	3,329	111
	小計	8,950	9,379	428	7,869	8,222	352
時価が貸借対照表計上額を 超えないもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	社債	—	—	—	—	—	—
	外国証券	146	145	△1	347	340	△7
	小計	146	145	△1	347	340	△7
合計	9,097	9,524	426	8,216	8,562	345	

(注)1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。  
2.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

■その他有価証券

(単位:百万円)

		2022年3月			2022年9月		
		貸借対照表計上額 (時価)	取得原価	差額	貸借対照表計上額 (時価)	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を 超えるもの	株式	3,827	2,813	1,014	3,354	2,562	791
	債券	136,310	132,234	4,075	100,181	97,248	2,933
	国債	41,699	38,891	2,807	37,130	34,865	2,264
	地方債	46,425	45,923	501	35,076	34,785	290
	社債	48,185	47,419	766	27,974	27,596	377
	外国証券	26,889	25,753	1,136	11,760	10,928	832
	その他	10,102	9,278	824	5,878	5,224	654
小計	177,130	170,079	7,050	121,175	115,963	5,211	
貸借対照表計上額が取得原価を 超えないもの	株式	3,003	3,416	△412	2,991	3,450	△458
	債券	87,856	90,579	△2,722	110,060	117,870	△7,810
	国債	66,916	69,273	△2,356	75,437	82,192	△6,754
	地方債	5,611	5,795	△184	8,224	8,641	△417
	社債	15,329	15,511	△182	26,398	27,036	△638
	外国証券	42,404	43,151	△747	55,558	61,545	△5,987
	その他	21,082	22,419	△1,337	22,236	25,751	△3,514
小計	154,347	159,567	△5,220	190,847	208,618	△17,770	
合計	331,478	329,647	1,830	312,023	324,581	△12,558	

(注)1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。  
2.上記の「その他」は、投資信託及び買入金銭債権等です。  
3.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

# 自己資本の充実の状況

## ■自己資本比率(単体)

2022年度上期については、長期化している新型コロナウイルスの流行やウクライナ情勢の影響を受けておられる事業者や個人の皆様への支援に努めるとともに、リスク管理に留意した運用を行いました。

その結果、リスク・アセットの増加率が自己資本の増加率を上回り、9月期の自己資本比率は15.13%(期初比▲0.48ポイント)と低下しましたが、依然として国内基準4%・国際基準8%を上回る水準を維持し、経営の健全性・安全性を十分に保っています。

当金庫は、引き続き、適切なリスク管理の下、地元皆様への融資と適切な資金運用に取り組み、健全性の確保と収益性の向上に努めてまいります。

### 【当金庫の2022年9月期の自己資本比率(単体)】

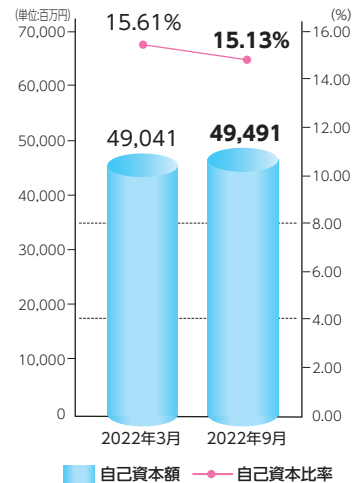
$$\text{単体自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額(コア資本に係る基礎項目の額50,011百万円}-\text{コア資本に係る調整項目の額520百万円)}}{\text{信用リスク・アセットの額の合計額310,856百万円}+\text{オペレーショナル・リスク相当額の合計額} \div 8\% \text{ 16,062百万円}} \times 100 = 15.13\%$$

## ■自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円、%)

項目	2022年3月	2022年9月
<b>コア資本に係る基礎項目(1)</b>		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	49,164	49,881
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,054	1,061
うち、利益剰余金の額	48,172	48,819
うち、外部流出予定額(△)	63	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	155	129
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	155	129
<b>コア資本に係る基礎項目の額…(イ)</b>	<b>49,319</b>	<b>50,011</b>
<b>コア資本に係る調整項目(2)</b>		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	111	230
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	111	230
前払年金費用の額	167	290
<b>コア資本に係る調整項目の額…(ロ)</b>	<b>278</b>	<b>520</b>
<b>自己資本</b>		
自己資本の額((イ)-(ロ))…(ハ)	49,041	49,491
<b>リスク・アセット等(3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	298,075	310,856
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△2,177	△1,425
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△2,177	△1,425
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	16,062	16,062
信用リスク・アセット調整額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	-
<b>リスク・アセット等の額の合計額…(ニ)</b>	<b>314,137</b>	<b>326,918</b>
<b>自己資本比率</b>		
自己資本比率((ハ)/(ニ))	15.61	15.13

## ■自己資本比率と自己資本額の推移



(注)

自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準を採用しております。

# 信用金庫法及び金融再生法に基づく債権の状況

(単位:百万円、%)

区分	開示残高(a)	保全額(b)	担保・保証等による回収見込額(c)	貸倒引当金(d)	保全率(b)/(a)	引当率(d)/(a-c)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2022年3月	977	977	587	100.00	100.00
	2022年9月	913	913	538	100.00	100.00
危険債権	2022年3月	4,749	4,525	2,839	95.30	88.30
	2022年9月	5,067	4,820	3,175	95.12	86.93
要管理債権	2022年3月	329	160	160	48.85	0.45
	2022年9月	466	279	272	59.87	3.49
三月以上延滞債権	2022年3月	11	6	6	58.06	0.55
	2022年9月	70	48	47	68.71	4.43
貸出条件緩和債権	2022年3月	317	153	153	48.50	0.45
	2022年9月	396	231	225	58.30	3.36
小計(A)	2022年3月	6,055	5,663	3,587	93.53	84.13
	2022年9月	6,448	6,013	3,986	93.26	82.34
正常債権(B)	2022年3月	308,913	-	-	-	-
	2022年9月	311,262	-	-	-	-
総与残残高(A)+(B)	2022年3月	314,969	-	-	-	-
	2022年9月	317,711	-	-	-	-

・上記開示債権について、担保・保証等による回収見込額には、決済確実な割引手形等を含めています。  
 ・金融再生法上の不良債権 6,448百万円  
 不良債権比率=  $\frac{\text{金融再生法上の不良債権}}{\text{合計(総与信)317,711百万円}} \times 100 = 2.03\%$   
 ※不良債権比率は単位未満を四捨五入して表示しています。

(注)

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
- 要管理債権とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
- 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
- 「正常債権」(B)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
- 「担保・保証等による回収見込額」(c)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
- 「貸倒引当金」(d)には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行の有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び払込金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は貸借借契約によるものに限る。))です。

※各表・グラフの記載計数で「-」は、該当計数がないことを表示しています。  
 ※各表・グラフの記載計数で「0」は、該当計数があるものの、単位未満であることを表示しています。  
 ※各表・グラフの記載計数は、単位未満を切り捨てて表示しています。

## 自己資本の充実度に関する事項(単体)

(単位:百万円)

	2022年3月		2022年9月	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
<b>イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本額の合計</b>	<b>298,075</b>	<b>11,923</b>	<b>310,856</b>	<b>12,434</b>
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	267,651	10,706	280,424	11,216
現金	-	-	-	-
ソブリン向け	1,296	51	901	36
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	58,690	2,347	66,033	2,641
法人等向け	57,772	2,310	57,567	2,302
中小企業等向け及び個人向け	68,421	2,736	68,611	2,744
抵当権付住宅ローン	10,351	414	10,077	403
不動産取得等事業向け	18,167	726	18,267	730
3か月以上延滞等	451	18	447	17
取立未済手形	63	2	70	2
信用保証協会等による保証付	4,075	163	4,113	164
株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-
出資等	9,831	393	9,146	365
出資等のエクスポージャー	9,831	393	9,146	365
重要な出資のエクスポージャー	-	-	-	-
上記以外	38,529	1,541	45,189	1,807
他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通出資等及びその他外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	9,147	365	7,893	315
信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	3,438	137	3,438	137
特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	2,900	116	11,234	449
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有している他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段に関するエクスポージャー	-	-	-	-
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有していない他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段のうち、その他外部TLAC関連調達手段に係る5%基準額を上回る部分に係るエクスポージャー	-	-	-	-
上記以外のエクスポージャー	23,043	921	22,622	904
②証券化エクスポージャー	7	0	-	-
証券化	-	-	-	-
STC要件適用分	-	-	-	-
非STC要件適用分	7	0	-	-
再証券化	-	-	-	-
③リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	32,593	1,303	31,856	1,274
ルック・スルー方式	32,593	1,303	31,856	1,274
マンデート方式	-	-	-	-
蓋然性方式(250%)	-	-	-	-
蓋然性方式(400%)	-	-	-	-
フォールバック方式(1250%)	-	-	-	-
④経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	-	-	-	-
⑤他の金融機関等の対象資本等調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△ 2,177	△ 87	△ 1,425	△ 57
⑥CVAリスク相当額を8%で除して得た額	-	-	-	-
⑦中央清算機関関連エクスポージャー	0	0	0	0
<b>ロ. オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額</b>	<b>16,062</b>	<b>642</b>	<b>16,062</b>	<b>642</b>
<b>ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)</b>	<b>314,137</b>	<b>12,565</b>	<b>326,918</b>	<b>13,076</b>

- (注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%(自己資本比率規制における国内基準)  
 2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。  
 3. 「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門(当該国内においてソブリン扱いになっているもの、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体のことです。  
 4. 「抵当権付住宅ローン」とは、住宅ローンの中で代表的なものとして、抵当権が第1順位かつ担保評価額が十分満たされているものを指します。  
 5. 「3か月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞

している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関及び第一種金融商品取引業者向け」、「法人等向け」、「国際決済銀行等向け」を除く)においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。  
 6. 「上記以外」は、ポートフォリオごとの区分に分類することが困難なもので、主なものは仮払金、前払費用、固定資産、繰延税金資産等です。  
 7. 当金庫は「基礎的手法」によりオペレーショナル・リスク相当額を算定しています。

(オペレーショナル・リスク相当額(基礎的手法)の算定方法) 粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)×15%  
 直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数

8. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

## 損益の状況

損益については、新型コロナウイルスの影響が長期化し、ウクライナ情勢を起因とする物価上昇が企業や個人生活に大きな影響を与える厳しい経済情勢の中で、有価証券利息配当金と預け金利息収入が増加、経費も減少したものの、貸出金利息収入と役員取引収益が減少、市場環境の悪化から債券の売却損益が前期比▲3億円と大幅に減少したため、業務純益は同▲77百万円減少の8億円(▲8.84%減)となりました。

しかし、株式の売却益1億70百万円の確保と信用コストの減少により、経常利益は同▲66百万円減少の9億58百万円(▲6.53%減)、当期純利益も同▲34百万円減少の7億10百万円(▲4.58%減)となり、昨年並みの利益を確保することができました。

(単位:百万円)

	2021年9月	2022年9月	増減
業務純益	878	800	▲77
実質業務純益	865	800	▲64
コア業務純益	715	952	236
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	715	948	233
経常利益	1,025	958	▲66
当期純利益	744	710	▲34

## 《たんよう》のカードなら《たんよう》のATMでのお引き出し手数料【無料】

《たんよう》のキャッシュカード・通帳をご利用の場合  
 《たんよう》ATMなら土・日・祝・夜間も  
 お引き出し手数料 0円

(《たんよう》キャラクター 森山 愛(もりやま あい))

(注) 他金庫幹事の共同設置出張所である、コープ田寺・イオンモール姫路 大津・姫路赤十字病院の各ATMはご利用日や時間帯により手数料が必要になる場合があります。

## 《たんよう》営業店間のATM等での振込手数料【無料】

《たんよう》ATM・インターネットバンキング  
 ファームバンキング等なら  
 本支店間振込手数料 0円

(《たんよう》キャラクター 加古 翔(かこ しょう))

(注) 他金融機関カードによるATM振込については、別途手数料が必要になる場合があります。  
 法人インターネットバンキング、FB、HB、ファクシミリ振込サービスの基本料金および替自動振込の手数料は必要です。

充実の店舗網(事務所の名称及び所在地)

# あなたの街にあなたの《たんよう》

## 但陽信用金庫の概要 (2022年9月末現在)

- 創業 1926(大正15)年6月10日
- 本店所在地 兵庫県加古川市加古川町溝之口772番地
- 会員数 32,162名
- 出資金 10億61百万円
- 預金 9,418億円
- 貸出金 3,168億円
- 店舗数 34店舗、71出張所  
(他金庫幹事3出張所を含む)
- 常勤役員数 612名



本店



但陽美術館本館・別館



但陽美術館東館

## 店舗のご案内

(2022年11月末現在 34店舗)

- 本店 加古川市加古川町溝之口772 ☎(079)422-7721
- 本店別館 加古川市加古川町平野367 ☎(079)423-2300
- 生野本部 朝来市生野町口銀谷511 ☎(079)679-2253

### 東播磨・加西地区

(15店舗)

- 本店営業部 加古川市加古川町溝之口772 ☎(079)422-7711
- 平野支店 加古川市加古川町平野367 ☎(079)421-2721
- 加古川東支店 加古川市平岡町新在家716-13 ☎(079)425-4151
- 土山支店 加古川市平岡町土山1203-1 ☎(078)942-5851
- 北野支店 加古川市野口町北野1139-3 ☎(079)425-0373
- 別府支店 加古川市別府町別府618-2 ☎(079)437-3201
- 神野支店 加古川市神野町西条416-1 ☎(079)438-1003
- 尾上支店 加古川市尾上町旭1-45-2 ☎(079)422-5551
- 高砂支店 高砂市米田町米田971-1 ☎(079)431-6833
- 高砂中央支店 高砂市高砂町栄町373-1 ☎(079)443-3122
- 高砂西支店 高砂市曾根町801-5 ☎(079)447-1203
- 大塩支店 高砂市北浜町西浜1208-50 ☎(079)254-3432
- 本荘支店 加古郡播磨町北本荘1-10-15 ☎(079)435-2055
- 稲美支店 加古郡稲美町国岡2-10-6 ☎(079)492-3222
- 加西支店 加西市北条町横尾381-7 ☎(0790)43-1231

### 姫路地区

(12店舗)

- 姫路支店 姫路市二階町111 ☎(079)224-2171
- 姫路南支店 姫路市東延末3-6 ☎(079)285-3711
- 姫路東支店 姫路市花田町加納原田917-1 ☎(079)253-9210
- 姫路北支店 姫路市御立西6-1-39 ☎(079)293-2011
- 姫路西支店 姫路市飾西640 ☎(079)266-9231
- 姫路灘支店 姫路市白浜町宇佐崎中1-37-3 ☎(079)245-1011
- 城西支店 姫路市土山3-7-30 ☎(079)298-2201
- 城北支店 姫路市増位本町1-1-9 ☎(079)281-5421
- 飾磨支店 姫路市飾磨区構2-19 ☎(079)235-2300
- 勝原支店 姫路市勝原区熊見77-3 ☎(079)230-3111
- 香呂支店 姫路市香寺町香呂3 ☎(079)232-1011
- 溝口支店 姫路市香寺町溝口555-4 ☎(079)232-7715

### 朝来・神崎地区

(7店舗)

- 生野支店 朝来市生野町口銀谷511 ☎(079)679-2251
- 和田山支店 朝来市和田山町枚田790 ☎(079)672-5500
- 朝来支店 朝来市新井128-1 ☎(079)677-1121
- 栗賀支店 神崎郡神河町栗賀町366 ☎(0790)32-1121
- 寺前支店 神崎郡神河町寺前219-3 ☎(0790)34-1710
- 甘地支店 神崎郡市川町甘地834-1 ☎(0790)26-1121
- 福崎支店 神崎郡福崎町西田原1403-1 ☎(0790)22-1221



※全店舗のATMコーナーにAEDを備え付けています。

※全店舗のATMコーナーは365日稼働。

## 子会社のご案内

(2000年10月12日 設立)

- 但陽ビジネスサービス株式会社  
加古川市加古川町平野367 ☎(079)423-0231

## 出張所(店外ATM)のご案内

(2022年11月末現在 71出張所)

### 東播磨・加西地区

(37出張所)

- 加古川市役所出張所
- ヤマトヤシキ加古川店出張所
- ニッケパークタウン出張所
- 加古川中央市民病院出張所
- マルアイ中津出張所
- マルアイ木村出張所
- マックスバリュ友沢出張所
- マックスバリュ今福出張所
- マルアイ南備後出張所
- ★ マックスバリュ安田出張所
- イオンタウン野口出張所
- マルアイ野口出張所
- 東加古川駅前出張所
- マルアイ東加古川出張所
- イオンタウン東加古川出張所
- マルアイ城の宮出張所
- B i V i 土山出張所
- マックスバリュ水足出張所
- 加古川石守ショッピングタウン出張所
- 県立加古川医療センター出張所
- マルアイ本社・神野店出張所
- マルアイ八幡出張所
- アリオ加古川出張所
- マルアイ一色出張所
- マルアイ浜の宮出張所
- イオンタウン加古川西出張所
- コープ神吉出張所
- マックスバリュ宝殿出張所
- アスパ高砂出張所
- トーホー曾根出張所
- 高砂市役所出張所
- マルアイ伊保出張所
- コープ播磨出張所
- マルアイ六分一出張所
- マックスバリュ稲美出張所
- アステアかさい出張所
- イオンモール加西北条出張所

### 姫路地区

(26出張所)

- マックスバリュ溝口出張所
- マックスバリュ豊富出張所
- 姫路聖マリア病院出張所
- ★ コープ砥堀出張所
- イオン姫路出張所
- マルアイ広峰出張所
- マルアイアンピック出張所
- ★ コープ田寺出張所
- マックスバリュ安室出張所
- マックスバリュ書写出張所
- マックスバリュ町田出張所
- マックスバリュ青山出張所
- ヤマダストアー青山出張所
- イオンタウン姫路出張所
- ★ 姫路赤十字病院出張所
- マックスバリュ西今宿出張所
- マックスバリュ岡田出張所
- 姫路亀山出張所
- マックスバリュ英賀保出張所
- ★ イオンモール姫路大津出張所
- マルナカ広畑出張所
- ヤマダストアー花田出張所
- イオンタウン姫路別所出張所
- マックスバリュ東山出張所
- 的形出張所
- トーホー大塩出張所

### 朝来・神崎地区

(8出張所)

- 朝来市役所出張所
- エスタ和田山出張所
- フレッシュバザール和田山玉置出張所
- 山東出張所
- 公立神崎総合病院出張所
- マックスバリュ市川出張所
- ライフ福崎出張所
- J R 福崎駅出張所

※1.○は平日のみの稼働。その他の出張所は原則、365日稼働しますが、設置施設の休業日等には稼働しない場合があります。

※2.★は他金庫との共同設置出張所のため、通帳での取引ができない出張所で、ご利用日・時間帯によっては、手数料が必要になる場合があります。



〒675-0064 加古川市加古川町溝之口772

電話 (079) 422-7721(代)

https://www.tanyo-shinkin.co.jp

☎ 0120(200)707



古紙配合率100%の再生紙を使用しています。